

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 11 月 1 日 (2023.11.1)

【公開番号】 特開 2022-73287 (P2022-73287A)
【公開日】 令和 4 年 5 月 17 日 (2022.5.17)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-086
【出願番号】 特願 2020-183177 (P2020-183177)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02 (2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320
A 63 F 7/02 304 D

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 10 月 24 日 (2023.10.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技者が操作可能な操作手段と、複数種類の画像を表示可能な表示手段と、前記表示手段の前方における所定位置へ移動可能な可動体と、を備える遊技機であって、前記操作手段と対応する操作手段画像を表示した状態であり、かつ、前記操作手段の操作が有効な残存期間を示唆する残存期間画像を表示しない状態で、前記可動体を退避位置から進出位置へ移動して前記可動体と前記操作手段画像とが前後方向において重なる演出を実行可能であり、

30

前記演出では、前記可動体を前記退避位置から前記進出位置へ移動開始して停止する状態においても、前記操作手段画像が表示されたままの状態であり、前記進出位置で停止する前記可動体が前記操作手段画像の一部を覆う、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0008
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0008】

40

〔適用例 1〕

遊技者が操作可能な操作手段と、複数種類の画像を表示可能な表示手段と、前記表示手段の前方における所定位置へ移動可能な可動体と、を備える遊技機であって、
前記操作手段と対応する操作手段画像を表示した状態であり、かつ、前記操作手段の操作が有効な残存期間を示唆する残存期間画像を表示しない状態で、前記可動体を退避位置から進出位置へ移動して前記可動体と前記操作手段画像とが前後方向において重なる演出を実行可能であり、

前記演出では、前記可動体を前記退避位置から前記進出位置へ移動開始して停止する状態においても、前記操作手段画像が表示されたままの状態であり、前記進出位置で停止する前記可動体が

50

前記操作手段画像の一部を覆う、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50